

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2009-91004

(P2009-91004A)

(43) 公開日 平成21年4月30日(2009.4.30)

(51) Int.Cl.

B 6 5 D 85/57 (2006.01)**G 1 1 B 23/03 (2006.01)**

F I

B 6 5 D 85/57

G 1 1 B 23/03

E

6 O 1 C

テーマコード (参考)

3 E 0 3 6

審査請求 未請求 請求項の数 7 O L (全 19 頁)

(21) 出願番号 特願2007-262905 (P2007-262905)

(22) 出願日 平成19年10月9日 (2007.10.9)

(71) 出願人 000001351

コクヨ株式会社

大阪府大阪市東成区大今里南6丁目1番1号

(74) 代理人 100104503

弁理士 益田 博文

(72) 発明者 秋山 弘昭

大阪府大阪市東成区大今里南6丁目1番1号 コクヨS&T株式会社内

Fターム(参考) 3E036 AA01 CA01 DA10 FA05

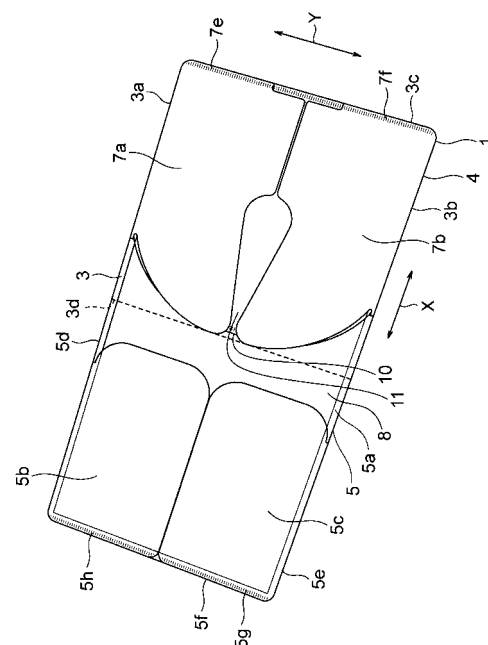
(54) 【発明の名称】 ディスク収納ケース及びその製造方法

(57) 【要約】

【課題】近年のニーズに対応し、ディスクの出し入れ方向に垂直な方向における幅を小さくすることで、全体として小型化を図ったディスク収納ケース及びその製造方法を提供する。

【解決手段】このディスク収納ケース1は、その第2ディスク保持部材7aが第1ディスク保持部材3の第1端辺3aで折り返し、ベース部材3に対して第3端辺3c近傍で溶着部7eによって固定されているとともに、その第3ディスク保持部材7bが上記第1ディスク保持部材3の第2端辺3bで折り返し、ベース部材3に対して第3端辺3c近傍で溶着部7fによって固定されている。従ってこのディスク収納ケース1は、ディスク13を第2ディスク保持部材7a及び第3ディスク保持部材7bと第1ディスク保持部材3との間に挿入しても、ディスク13の出し入れ方向Xに垂直な幅方向Yにおいて第1端辺3a及び第2端辺3bのいずれにも溶着部が存在しない構成となっている。

【選択図】 図1



【特許請求の範囲】**【請求項 1】**

ディスクを収納するための樹脂製のディスク収納ケースであって、

前記ディスクを収納した際に前記ディスクを保持する矩形の部材であって、前記ディスクの出し入れ方向に沿った 2 辺を構成する第 1 端辺及び第 2 端辺を備えるとともに、前記第 1 端辺及び前記第 2 端辺とともに前記矩形の部材の外縁を構成する第 3 端辺及び第 4 端辺を備える第 1 ディスク保持部材と、

前記第 1 ディスク保持部材の前記第 1 端辺で折り返し、前記第 1 ディスク保持部材に対して前記第 3 端辺近傍で溶着部によって固定されており、前記第 1 ディスク保持部材との間で前記ディスクを挟み込んで保持する第 2 ディスク保持部材と、

前記第 1 ディスク保持部材の前記第 2 端辺で折り返し、前記第 1 ディスク保持部材に対して前記第 3 端辺近傍で溶着部によって固定されており、前記第 1 ディスク保持部材との間で前記ディスクを挟み込んで保持する第 3 ディスク保持部材と、

前記第 1 ディスク保持部材の前記第 4 端辺にて前記第 1 ディスク保持部材に対して折り畳み可能なカバー部材と

を有することを特徴とするディスク収納ケース。

【請求項 2】

請求項 1 記載のディスク収納ケースにおいて、

前記第 2 ディスク保持部材及び前記第 3 ディスク保持部材と前記第 1 ディスク保持部材との間に前記ディスクが収納された際に、前記第 3 端辺付近における前記ディスクの先端部が当たる前記第 2 ディスク保持部材及び前記第 3 ディスク保持部材の少なくとも一方の部分に切り欠き部が形成されていることを特徴とするディスク収納ケース。

【請求項 3】

請求項 1 又は 2 記載のディスク収納ケースにおいて、

前記第 1 ディスク保持部材の前記第 3 端辺で折り返して前記第 2 ディスク保持部材及び前記第 3 ディスク保持部材と前記第 1 ディスク保持部材との間に配置するシート部材であって、折り返した前記第 2 ディスク保持部材及び前記第 3 ディスク保持部材並びに前記第 1 ディスク保持部材とともに前記第 3 端辺近傍で溶着部によって固定された中間部材を有することを特徴とするディスク収納ケース。

【請求項 4】

請求項 1 乃至 3 のいずれか 1 項記載のディスク収納ケースにおいて、

前記第 2 ディスク保持部材及び前記第 3 ディスク保持部材と前記第 1 ディスク保持部材との間には、前記ディスクのディスク面を保護する保護部材が配置していることを特徴とするディスク収納ケース。

【請求項 5】

請求項 3 又は 4 記載のディスク収納ケースにおいて、

前記保護部材と前記第 1 ディスク保持部材との間に形成された隙間であって、前記ディスクを装飾するジャケットの少なくとも一部を挿入可能なジャケット収納部を有することを特徴とするディスク収納ケース。

【請求項 6】

ディスクを収納するための樹脂製のディスク収納ケースの製造方法であって、

前記ディスクを収納した際に前記ディスクを保持する矩形の第 1 ディスク保持部材と、前記ディスクの出し入れ方向に沿った前記第 1 ディスク保持部材の 2 辺を構成する第 1 端辺及び第 2 端辺を介して各々連続している第 2 ディスク保持部材及び第 3 ディスク保持部材と、前記第 1 端辺及び前記第 2 端辺とともに前記第 1 ディスク保持部材の外縁を構成する第 3 端辺及び第 4 端辺のうち前記第 4 端辺を介して連続するカバー部材とを有する、シート部材を形成するシート部材形成ステップと、

前記第 2 ディスク保持部材を前記第 1 端辺で折り返して前記第 1 ディスク保持部材に対向させるとともに、前記第 3 ディスク保持部材を前記第 2 端辺で折り返して前記第 1 ディスク保持部材に対向させるディスク保持部材折り返しステップと、

折り返した前記第 2 ディスク保持部材及び前記第 3 ディスク保持部材並びに前記第 1 ディスク保持部材とともに前記第 3 端辺近傍で溶着部によって固定する溶着ステップと、

前記カバー部材を前記第 4 端辺にて折り返して前記第 1 ディスク保持部材に対して折り畳み可能とするカバー部材形成ステップと
を有することを特徴とするディスク収納ケースの製造方法。

【請求項 7】

請求項 6 記載のディスク収納ケースの製造方法において、

前記シート形成ステップでは、前記シート部材に、前記第 2 ディスク保持部材及び前記第 3 ディスク保持部材と前記第 1 ディスク保持部材との間に前記ディスクが収納された際に、前記第 3 端辺付近における前記ディスクの先端部が当たる前記第 2 ディスク保持部材及び前記第 3 ディスク保持部材の少なくとも一方の部分に切り欠き部を形成しておくことを特徴とするディスク収納ケースの製造方法。

10

【発明の詳細な説明】

【技術分野】

【0001】

本発明は、コンパクトディスク、デジタルバーサタイルディスクなどのディスクを収納するためのディスク収納ケース及びその製造方法に関するものである。

【背景技術】

【0002】

例えば、コンパクトディスク等、ディスク状の情報記憶媒体（以下、単に「ディスク」と呼ぶ）を収納するためのディスク収納ケースの一例として、従来、例えば特許文献 1 記載の収納ケース（以下、「従来の収納ケース」と呼ぶ）が知られている。

20

【0003】

従来の収納ケースは、コンパクトディスク等の情報記録媒体を、次のような収容部に収納する収納ケースである。従来の収納ケースでは、シート部材（後述する第 5 シート部材に相当）に接着された保護シート部材によってこれらの間の隙間によって収納部が形成され、この収納部にコンパクトディスクなどの情報記録媒体を収納することができる。

【0004】

具体的には、第 5 シート部材は、保護シート部材と略重なり合う形状に形成されている。第 5 シート部材と保護シート部材とは、この第 5 シート部材におけるコの字状の接着部と、保護シート部材におけるコの字状の接着部とが重ね合わされた状態で、熱用着又は縫合などの種々の手段を用いて接着される。この収容部は、接着部が存在しない 1 辺が開口部を形成しており、この開口部からコンパクトディスクを収納又は取り出しが可能な構成となる。

30

【0005】

【特許文献 1】特開 2003 - 292079 号公報

【発明の開示】

【発明が解決しようとする課題】

【0006】

しかしながら従来の収納ケースにおいては、このような構成の収納部を備えていると、コンパクトディスクの出し入れ方向に対して垂直な方向において、コンパクトディスクの直径のみならず両端の接着部分（上述したコの字の部分）の幅を余分に必要としてしまい、小型化を図ることができなかった。

40

【0007】

本発明の目的は、ディスクの出し入れ方向に垂直な方向における幅を小さくすることで、全体として小型化を図ることができるディスク収納ケース及びその製造方法を提供することにある。

【課題を解決するための手段】

【0008】

上記目的を達成するために、本願第 1 発明のディスク収納ケースは、ディスクを収納す

50

るための樹脂製のディスク収納ケースであって、前記ディスクを収納した際に前記ディスクを保持する矩形の部材であって、前記ディスクの出し入れ方向に沿った2辺を構成する第1端面及び第2端面を備えるとともに、前記第1端面及び前記第2端面とともに前記矩形の部材の外縁を構成する第3端面及び第4端面を備える第1ディスク保持部材と、前記第1ディスク保持部材の前記第1端面で折り返し、前記第1ディスク保持部材に対して前記第3端面近傍で溶着部によって固定されており、前記第1ディスク保持部材との間で前記ディスクを挟み込んで保持する第2ディスク保持部材と、前記第1ディスク保持部材の前記第2端面で折り返し、前記第1ディスク保持部材に対して前記第3端面近傍で溶着部によって固定されており、前記第1ディスク保持部材との間で前記ディスクを挟み込んで保持する第3ディスク保持部材と、前記第1ディスク保持部材の前記第4端面にて前記第1ディスク保持部材に対して折り畳み可能なカバー部材とを有することを特徴とする。

10

【0009】

本願第1発明においては、第1ディスク保持部材の第1端面及び第2端面がそれぞれ折り返しにより構成されているため、例えば溶着に必要な部分を必要とせず、ディスクの出し入れ方向にほぼ垂直な方向において幅を小さくすることができる。従って、このディスク収納ケースは全体として小型化を図ることができる。

【0010】

第2の発明は、上記第1発明において、前記第2ディスク保持部材及び前記第3ディスク保持部材と前記第1ディスク保持部材との間に前記ディスクが収納された際に、前記第3端面付近における前記ディスクの先端部が当たる前記第2ディスク保持部材及び前記第3ディスク保持部材の少なくとも一方の部分に切り欠き部が形成されていることを特徴とする。

20

【0011】

これにより、第2ディスク保持部材及び第3ディスク保持部材と第1ディスク保持部材との間にディスクが収納された際に、ディスクの先端部を切り欠き部に嵌め込みディスクをさらに奥に収納することができるため、ディスクの出し入れ方向におけるサイズを小さくすることができる。

【0012】

第3の発明は、上記第1発明又は第2発明において、前記第1ディスク保持部材の前記第3端面で折り返して前記第2ディスク保持部材及び前記第3ディスク保持部材と前記第1ディスク保持部材との間に配置するシート部材であって、折り返した前記第2ディスク保持部材及び前記第3ディスク保持部材並びに前記第1ディスク保持部材とともに前記第3端面近傍で溶着部によって固定された中間部材を有することを特徴とする。

30

【0013】

これにより、第2ディスク保持部材及び第3ディスク保持部材と第1ディスク保持部材との間に配置する中間部材は、これら第2ディスク保持部材及び第3ディスク保持部材と第1ディスク保持部材との間に2つの隙間を形成する。すると、第2ディスク保持部材及び第3ディスク保持部材と中間部材との間の隙間にはディスクを収納することができる一方、この中間部材と第1ディスク保持部材との隙間には、例えばディスクに関するジャケットを収納することができる。また、このディスク収納ケースは、中間部材が存在しているため、ディスクを収納した際に、第2ディスク保持部材及び第3ディスク保持部材と第1ディスク保持部材とでディスクを保持するのみならず、中間部材でもディスクを保持することになるため、これら第1ディスク保持部材、第2ディスク保持部材及び第3ディスク保持部材の厚みを従来よりも薄くしても、従来のディスク収納ケースと同程度の強度を確保することができる。

40

【0014】

第4の発明は、上記第3発明において、前記第2ディスク保持部材及び前記第3ディスク保持部材と前記第1ディスク保持部材との間には、前記ディスクのディスク面を保護する保護部材が配置していることを特徴とする。

【0015】

50

これにより、第2ディスク保持部材及び第3ディスク保持部材と第1ディスク保持部材との間にディスクを収納すると、ディスク面が保護部材によって保護され、傷が付きにくくなる。さらにこのディスク収納ケースでは、ディスクの両面に保護部材が配置しないため、ディスクを出し入れし易いながらディスク面を確実に保護することができる。

【0016】

第5の発明は、上記第3発明又は第4発明において、前記保護部材と前記第1ディスク保持部材との間に形成された隙間であって、前記ディスクを装飾するジャケットの少なくとも一部を挿入可能なジャケット収納部を有することを特徴とする。

【0017】

これにより、見開き可能なジャケットの一方のページをこのジャケット収納部に挿入することで、このジャケットを見開きの状態で収納することができる。

10

【0018】

上記目的を達成するために、本願第6発明のディスク収納ケースの製造方法は、ディスクを収納するための樹脂製のディスク収納ケースの製造方法であって、前記ディスクを収納した際に前記ディスクを保持する矩形の第1ディスク保持部材と、前記ディスクの出し入れ方向に沿った前記第1ディスク保持部材2辺を構成する第1端辺及び第2端辺を介して各々連続している第2ディスク保持部材及び第3ディスク保持部材と、前記第1端辺及び前記第2端辺とともに前記第1ディスク保持部材の外縁を構成する第3端辺及び第4端辺を介して各々連続する中間部材及びカバー部材とを有する、シート部材を形成するシート部材形成ステップと、前記中間部材を前記第3端辺3cで折り返して前記第1ディスク保持部材に対向させる中間部材折り返しステップと、前記第2ディスク保持部材を前記第1端辺で折り返して前記中間部材とともに前記第1ディスク保持部材に対向させるとともに、前記第3ディスク保持部材を前記第2端辺で折り返して前記中間部材とともに前記第1ディスク保持部材に対向させるディスク保持部材折り返しステップと、折り返した前記中間部材、前記第2ディスク保持部材及び前記第3ディスク保持部材並びに前記第1ディスク保持部材とともに前記第3端辺近傍で溶着部によって固定する溶着ステップと、前記カバー部材を前記第4端辺にて折り返して前記第1ディスク保持部材に対して折り畳み可能とするカバー部材形成ステップとを有することを特徴とする。

20

【0019】

本願第6発明においては、ディスク保持部材折り返しステップでは、第2ディスク保持部材及び第3ディスク保持部材を第1ディスク保持部材に溶着する代わりに、各々第1端辺及び第2端辺で折り返しにより第2ディスク保持部材及び第3ディスク保持部材を第1ディスク保持部材に対応させている。このためディスク収納ケースは、第1端辺及び第2端辺のいずれにもこれらを溶着する溶着部を形成する必要がないため、ディスクの出し入れ方向に垂直な幅方向において幅を小さくすることができる。このため、この製造方法により製造されたディスク収納ケースは、全体として従来よりも小型化を図ることができる。

30

【0020】

第7の発明は、上記第6発明において、前記シート形成ステップでは、前記シート部材に、前記第2ディスク保持部材及び前記第3ディスク保持部材と前記第1ディスク保持部材との間に前記ディスクが収納された際に、前記第3端辺付近における前記ディスクの先端部が当たる前記第2ディスク保持部材及び前記第3ディスク保持部材の少なくとも一方の部分に切り欠き部を形成しておく。

40

【0021】

これにより、第2ディスク保持部材及び第3ディスク保持部材と第1ディスク保持部材との間にディスクが収納された際に、ディスクの先端部を切り欠き部に嵌め込みディスクをさらに奥に収納することができるため、ディスクの出し入れ方向におけるサイズを小さくすることができる。

【発明の効果】

【0022】

50

本発明によれば、ディスクの出し入れ方向に垂直な方向における幅を小さくすることで、全体として小型化を図ることができる。

【発明を実施するための最良の形態】

【0023】

以下、本発明の一実施の形態を図面を参照しつつ説明する。本実施形態は、情報記録媒体の一例としてコンパクトディスクを収納するディスク収納ケースに本発明を適用した場合の実施形態である。なお、以下の実施形態では、説明の都合上、上部及び下部という用語を用いるが、これらは図示したように配置した場合に上部であるか下部であるかを表しており、使用の態様に応じて各部材の位置が必ずしもそのように上部や下部に固定される訳ではない。

10

【0024】

図1は、本実施形態のディスク収納ケース1の全体構造を表す斜視図である。このディスク収納ケース1は、コンパクトディスクなどの情報記録媒体を収納するためのケースである。以下の説明では、このような情報記録媒体のうちディスク形状の物を「ディスク」と総称する。このディスク収納ケース1は、樹脂などの比較的柔らかい素材を材料とする半透明ないわゆるソフトケースである。

【0025】

このディスク収納ケース1の構成としては、収納部本体4及びカバー部材5を有し、収納部本体4は、ベース部材3、上部ディスク保持部材7a、下部ディスク保持部材7b、不織布11及び中間部材10を有する。なお、この中間部材10は後述するように省略することもできる。

20

【0026】

ベース部材3は、後述するディスクを収納した際にディスクを保持する矩形の部材である。このベース部材3は、ディスクの出し入れ方向Xに沿った2辺を構成する第1端辺3a及び第2端辺3bを備える。さらにこのベース部材3は、これら第1端辺3a及び第2端辺3bとともに上述した矩形の部材の外縁を構成する第3端辺3c及び第4端辺3dを備えている。

【0027】

つまりベース部材3は、第1端辺3a、第2端辺3b、第3端辺3c及び第4端辺3dを外縁とする矩形の部材となっている。この矩形のベース部材3は、ディスクの出し入れ方向X及び幅方向Yにおいてほぼ等しい長さとなっており、ほぼ正方形を構成している。これらディスクの出し入れ方向X及び幅方向Yにおける上述した各辺3aなどの長さは、それぞれディスクの直径にほぼ等しい構成となっている。

30

【0028】

上部ディスク保持部材7aは、ベース部材3の第1端辺3aで折り返して構成されており、ベース部材3との間で上記ディスクを挟み込んで保持する部材である。一方、下部ディスク保持部材7bは、ベース部材3の第2端辺3bで折り返して構成されており、ベース部材3との間で上記ディスクを挟み込んで保持する部材である。ここで、これら上部ディスク保持部材7a及び下部ディスク保持部材7bは、それぞれ第1端辺3a及び第2端辺3bで、ベース部材3に対して溶着によらず折り返しによりベース部材3に対向するように構成されるため、上記幅方向Yにおいて溶着に必要なスペースを必要としない。

40

【0029】

中間部材10は、ベース部材3の第3端辺3cで折り返して構成して上部ディスク保持部材7a及び下部ディスク保持部材7bとベース部材3との間に配置するシート部材である。この中間部材10は、折り返した上部ディスク保持部材7a及び下部ディスク保持部材7b並びにベース部材3とともに第3端辺3c近傍で溶着部7e、7fで固定されている。なお、上述したように中間部材10を省略する場合には、これら折り返した上部ディスク保持部材7a及び下部ディスク保持部材7bがベース部材3に対して第3端辺3c近傍で各々溶着部7e、7fにより固定される。

【0030】

50

またこの中間部材 10 には、上部ディスク保持部材 7 a 及び下部ディスク保持部材 7 b に対向する面に、ディスク 13 のディスク面 13 a を保護する不織布 11 (保護部材に相当) が配置されている。なおこの不織布 11 は省略することもできる。また、上述したように中間部材 10 を省略した場合には、上部ディスク保持部材 7 a 及び下部ディスク保持部材 7 b とベース部材 3 との間に、この不織布 11 が存在する構成となる。このディスク収納ケース 1 は、この不織布 11 と上部ディスク保持部材 7 a 及び下部ディスク保持部材 7 b との間にディスク 13 を挿入することで、ディスク 13 のディスク面 13 a を不織布 11 で保護しつつディスク 13 を保持することができる。

【0031】

上述した上部ディスク保持部材 7 a 及び下部ディスク保持部材 7 b は、第 3 端辺 3 c に沿ってベース部材 3 に溶着されている。なお、この中間部材 10 が存在する場合には、上部ディスク保持部材 7 a 及び下部ディスク保持部材 7 b が第 3 端辺 3 c に沿ってこの中間部材 10 を介してベース部材 3 に溶着されている。具体的には、上部ディスク保持部材 7 a は、第 3 端辺 3 c において溶着部 7 e にて中間部材 10 とともにベース部材 3 に固定されている。一方、下部ディスク保持部材 7 b は、第 3 端辺 3 c において溶着部 7 f にて中間部材 10 とともにベース部材 3 に固定されている。

【0032】

カバー部材 5 は、上述したベース部材 3 とほぼ同様の面積を有する矩形の部材である。このカバー部材 5 は、ベース部材 3 の第 4 端辺 3 d にてベース部材 3 に対して折り畳み可能な部材である。この折り畳んだ状態については後述する。このカバー部材 5 は、上述したベース部材 3 と一体であるが、第 4 端辺 3 d にて連続した構成となっている。

【0033】

カバー部材 5 は、カバー部材本体 5 a、上部ジャケット保持部 5 b 及び下部ジャケット保持部 5 c を有する。カバー部材本体 5 a は、上述した第 3 端辺 3 c でベース部材 3 に対して折り畳むと、上述したようにベース部材 3 で保持したディスクを覆って保護することができる。

【0034】

上部ジャケット保持部 5 b は、カバー部材本体 5 a とは一体であるが、カバー部材本体 5 a の第 5 端辺 5 d で折り返して幅方向 Y においてカバー部材本体 5 a の下端 (第 6 端辺 5 e) に向けて延びるほぼ矩形の半片である。

【0035】

下部ジャケット保持部 5 c は、カバー部材本体 5 a とは一体であるが、カバー部材本体 5 a の第 6 端辺 5 e を折り返して幅方向 Y においてカバー部材本体 5 a の上端 (第 5 端辺 5 d) に向けて延びるほぼ矩形の半片である。

【0036】

これら上部ジャケット保持部 5 b 及び下部ジャケット保持部 5 c は、それぞれ上端の第 5 端辺 5 d 及び下端の第 6 端辺 5 e から延びて、カバー部材本体 5 a との間に隙間を形成している。この隙間には、後述するジャケット 8 の一端が差し込めるようになっている。

【0037】

上述した上部ジャケット保持部 5 b 及び下部ジャケット保持部 5 c は、第 7 端辺 5 f に沿ってベース部材 3 に溶着されている。具体的には、上部ジャケット保持部 5 b は、第 7 端辺 5 f において溶着部 5 g にてベース部材 3 に固定されている。一方、下部ディスク保持部材 7 b は、第 3 端辺 3 c において溶着部 5 h にてベース部材 3 に固定されている。

【0038】

ジャケット 8 は、このディスク収納ケース 1 に収納可能なディスクに記憶させているコンテンツに関する情報が記載されている。このジャケット 8 は、例えばディスクの出し入れ方向 X に沿って延びる帯状の紙部材であり、幅方向 Y に形成された折り込み部分を中心として折り畳むことができる。

【0039】

図 2 は、図 1 に示すディスク収納ケース 1 を折り畳んだ状態の一例を示す斜視図である

10

20

30

40

50

。

図示の例では、カバー部材本体 5 a がベース部材 3 に対して第 3 端辺 3 c において折り畳まれた状態を表している。この状態では、仮にディスクを収納していても不透明なジャケット 8 が装着されている場合にはディスクは露出せず、半透明なカバー部材本体 5 a を透過してそのジャケット 8 を視認することができる。また、この状態では、ディスク収納ケース 1 は、このカバー部材 5 及びベース部材 3 によって内蔵物（例えばディスク）を保護することができる。

【 0 0 4 0 】

図 3 及び図 4 は、それぞれ図 1 に示すディスク収納ケース 1 のベース部材 3 の断面構成例を表す部分断面図である。

図 3 に示すようにディスク収納ケース 1 は、上部ディスク保持部材 7 a 及び下部ディスク保持部材 7 b と上記不織布 1 1 との間の隙間にディスク 1 3 を挿入することで、これら上部ディスク保持部材 7 a 及び下部ディスク保持部材 7 b と不織布 1 1 との間に形成された隙間にディスク 1 3 を差し込むことができる。

【 0 0 4 1 】

このディスク収納ケース 1 は、上述のようにベース部材 3 の上端である第 1 端辺 3 a 及び第 2 端辺 3 b が各々溶着ではなく折り返し構造によって形成されているため、ディスク 1 3 の端部が、上部ディスク保持部材 7 a と不織布 1 1 との間の隙間のうち第 1 端辺 3 a の部分に奥まで近接するようになる。一方、このディスク 1 3 の端部は、そのような折り返し構造によって、下部ディスク保持部材 7 b 及び不織布 1 1 との間の隙間のうち第 2 端

【 0 0 4 2 】

またディスク収納ケース 1 は、差し込み始めたディスク 1 3 をさらに差し込むことで、図 4 に示すように上部ディスク保持部材 7 a 及び下部ディスク保持部材 7 b と不織布 1 1 との間の隙間にディスク 1 3 を収納することができる。この状態では、例えばディスク 1 3 の一方の面に情報を記憶させているタイプである場合、このディスク 1 3 の一面に不織布 1 1 が接するようにしておけば、ディスク 1 3 の記録面を保護することができる。

【 0 0 4 3 】

なお、ディスク 1 3 を収納したディスク収納ケース 1 は、ディスクの出し入れ方向 X に沿って左に向けてディスク 1 3 を引き出すことで、このディスク 1 3 を取り出すことができる。

【 0 0 4 4 】

図 5 は、図 3 に示すディスク収納ケース 1 の第 1 端辺 3 a 近傍を A - A ' 線で切断した場合における断面図である。なお図 5 においては、代表として第 1 端辺 3 a 近傍を図示しているが、左右関係を除いて、第 2 端辺 3 b 近傍もほぼ同様の構成となっている。

【 0 0 4 5 】

ディスク収納ケース 1 は、上述のようにベース部材 3 から連続する上部ディスク保持部材 7 a が、第 1 端辺 3 a にてこのベース部材 3 に対して折り返した構成となっている。

【 0 0 4 6 】

このディスク収納ケース 1 には、これらベース部材 3 と上部ディスク保持部材 7 a との間の内周面によって構成される空間として、ディスク収納部 4 a が形成される。このディスク収納ケース 1 は中間部材 1 0 を備える場合、このディスク収納部 4 a 内にこの中間部材 1 0 が配置している。

【 0 0 4 7 】

中間部材 1 0 は、上部ディスク保持部材 7 a （第 2 ディスク保持部材）及び下部ディスク保持部材 7 b （第 3 ディスク保持部材）とベース部材 3 （第 1 ディスク保持部材）との間に広がるシート部材である。この中間部材 1 0 とベース部材 3 との間には、上述のようにジャケット収容部 4 b が形成されている。

【 0 0 4 8 】

この中間部材 1 0 上には、そのほぼ一面にわたり上述した不織布 1 1 が配置されている

10

20

30

40

50

。この不織布 11 は、その一部がこの中間部材 10 に溶着により固定されている。

【0049】

また、中間部材 10 とベース部材 3 との間にはジャケット収容部 4b が存在している。このジャケット収容部 4b は、それら中間部材 10 とベース部材 3 との間に形成された隙間であって、ディスク 5 を装飾するジャケット 8 の少なくとも一部を挿入可能な構成となっている。

【0050】

図 6 は、図 4 に示すディスク収納ケース 1 にディスク 13 を収納して第 1 端辺 3a 近傍を A - A' 線で切断した場合における部分断面図である。なお図 6 においては、代表として第 1 端辺 3a の近傍を図示しているが、左右関係を除いて、第 2 端辺 3b 近傍もほぼ同様の構成となっている。また図 6 においては、このディスク収納ケース 1 に収納したディスク 13 自体は切断しておらず側面から見た場合の構成を示している。

10

【0051】

ディスク収納ケース 1 には、上記収容部 4a 内にディスク 13 が収容されている。ディスク 13 は、そのディスク面 13a が不織布 11 に密着するように収容されており、不織布 11 によってディスク面 13a が保護されている。

【0052】

またこのディスク収納ケース 1 は、第 1 端辺 3a 付近において、ベース部材 3 と上部ディスク保持部材 7a とが別体でありこれらベース部材 3 と上部ディスク保持部材 7a とを溶着することが必要ないため、ディスク 13 の側方における隙間 14b が従来よりも小さくなる。このためディスク収納ケース 1 は、幅方向 Y において幅を従来よりも狭くすることができるため、全体として小型化を図ることができる。

20

【0053】

図 7 は、図 4 に示すディスク 13 を収容しているディスク収納ケース 1 の収納部本体 4 の一部を拡大した構成例を示す正面図である。なお図 7 においては、収納済みのディスク 13 が、例えば半透明な上部ディスク保持部材 7a 及び下部ディスク保持部材 7b を介して視認可能となっている。

【0054】

ディスク 13 は、そのディスク 13 の中心の穴から露出している不織布 11 と、上部ディスク保持部材 7a 及び下部ディスク保持部材 7b とに密着しつつ挟み込まれている。

30

【0055】

このディスク収納ケース 1 には、上部ディスク保持部材 7a (第 2 ディスク保持部材) 及び下部ディスク保持部材 7b (第 3 ディスク保持部材) とベース部材 3 (第 1 ディスク保持部材) との間にディスク 13 が収納された際に、第 3 端辺 3c 付近におけるディスク 13 の先端部が当たる上部ディスク保持部材 7a 及び下部ディスク保持部材 7b の少なくとも一方の部分に切り欠き部 7c, 7d が形成されている。本実施形態では、この切り欠き部 7c, 7d が一例として次のような構成となっている。

【0056】

上部ディスク保持部材 7a には、その第 3 端辺 3c 付近の少なくとも一部に上部切り欠き部 7c が形成されており、下部ディスク保持部材 7b には、その第 3 端辺 3c 付近の少なくとも一部に下部切り欠き部 7d が形成されている。これら上部切り欠き部 7c 及び下部切り欠き部 7d は、それぞれ、ディスク 13 が収納された場合にディスク 13 の先端が第 3 端辺 3c よりもディスクの出し入れ方向 X においてはみ出ない程度の範囲で、このディスク 13 をできるだけ第 3 端辺 3c の近傍まで近づけて収納させるために形成されている。

40

【0057】

従って、このディスク 13 がディスク収納ケース 1 に収容されると、このディスク 13 の一部が、上部ディスク保持部材 7a の上部切り欠き部 7c から露出しているとともに、下部ディスク保持部材 7b の下部切り欠き部 7d から露出している。

【0058】

50

図 8 及び図 9 は、それぞれディスク収納ケース 1 にジャケット 8 を装着する様子の一例を示す斜視図である。

ジャケット 8 をディスク収納ケース 1 に装着するには、まず、図 8 に示すようにジャケット 8 の一方のページをこのジャケット収容部 4 b に挿入するとともに、図 9 に示すようにこのジャケット 8 の他方のページを、カバー部材 5 と上部ディスク保持部材 7 a 及び下部ディスク保持部材 7 b との間に形成された隙間に挿入していく。すると、図 1 に示すようにディスク収納ケース 1 には、ジャケット 8 を着脱可能に装着することができる。

【 0 0 5 9 】

ディスク収納ケース 1 は以上のような構成であり、次に図 1 ～図 9 を参照しつつディスク収納ケース 1 の製造方法について図面を用いて簡単に説明する。

【 0 0 6 0 】

< シート部材 >

図 1 0 及び図 1 1 は、それぞれ図 1 に示すディスク収納ケース 1 を製造するためのシート部材を広げた構成例を示す正面図である。なお図 1 0 は、例えば樹脂製のシート部材を表しており、図 1 1 は、上述した不織布 1 1 の構成例を表している。

【 0 0 6 1 】

ディスク収納ケース 1 を製造するためのシート部材としては、例えば図示のような構成を採用することができる。具体的には、このシート部材は、そのほぼ中心にベース部材 3 が配置している。

【 0 0 6 2 】

このベース部材 3 には、その第 1 端辺 3 a を介して上部ディスク保持部材 7 a が連続した構成となっており、その第 2 端辺 3 b を介して下部ディスク保持部材 7 b が連続した構成となっている。このベース部材 3 には、その第 3 端辺 3 c を介して中間部材 1 0 が連続した構成となっている。なお、上述したように中間部材 1 0 が存在しない構成を採用した場合、このベース部材 3 は中間部材 1 0 が存在せず第 3 端辺 3 c にて端部となっている。また、このベース部材 3 には、その第 4 端辺 3 d を介してカバー部材 5 が連続した構成となっている。

【 0 0 6 3 】

また、このカバー部材 5 には、第 5 端辺 5 d を介して上部ジャケット保持部 5 b が連続した構成となっており、その第 6 端辺 5 e を介して下部ジャケット保持部 5 c が連続した構成となっている。

【 0 0 6 4 】

このシート部材においては、上部ディスク保持部材 7 a に切り欠き部 7 c が形成されているとともに、下部ディスク保持部材 7 b に切り欠き部 7 d が形成されている。つまり、このシート部材においては、上部ディスク保持部材 7 a 及び下部ディスク保持部材 7 b とベース部材 3 との間にディスク 1 3 が収納された際に、第 3 端辺 3 c 付近におけるディスク 1 3 の先端部が当たる上部ディスク保持部材 7 a 及び下部ディスク保持部材 7 b の少なくとも一方の部分に切り欠き部 7 c , 7 d が形成されている。

【 0 0 6 5 】

上述したディスク収納ケース 1 を製造するためのシート部材としては、図 1 1 に示すような不織布 1 1 も用いる。この不織布 1 1 は、例えば、上述した中間部材 1 0 とほぼ同様の形状の部材を採用しているが、ディスク 1 3 のディスク面 1 3 a を保護することができる形態であればどのような形状であってもよい。

【 0 0 6 6 】

< 組立て方法 >

図 1 2 ～図 1 8 は、図 1 0 及び図 1 1 に各々示すシート部材からディスク収納ケース 1 を製造する手順の一例を示す斜視図である。なお上部ジャケット保持部 5 b 及び下部ディスク保持部材 7 b 並びに上部ジャケット保持部 5 b 及び下部ジャケット保持部 5 c は、様々な形状を採用することができる。

【 0 0 6 7 】

10

20

30

40

50

まず、図 1 2 に示すような樹脂製の半透明なシート部材を用意する。このシート部材においては、第 1 端辺 3 a、第 2 端辺 3 b、第 3 端辺 3 c、第 4 端辺 3 d、第 5 端辺 5 d 及び第 6 端辺 5 e に、シート部材を折り返し易いように浅く切り込みを入れておくようにしても良い。このシート部材においては、中間部材 1 0 の裏面に不織布 1 1 が溶着により固定されている。この不織布 1 1 は、第 3 端辺 3 c の対辺付近の部分が溶着により中間部材 1 0 に固定されている。

【 0 0 6 8 】

< 中間部材折り返しステップ >

次に、このシート部材は、その中間部材 1 0 の部分が第 3 端辺 3 c を中心として R 1 方向に折り返され、このシート部材は、図 1 3 に示すような形態となる。この形態では、中間部材 1 0 がベース部材 3 に対向するように重なって一致して密着している。なお、上述したように中間部材 1 0 が存在しない構成である場合、この中間部材折り返しステップを省略することができ、上述したように不織布 1 1 を中間部材 1 0 に固定する代わりに、そのベース部材 3 に不織布 1 1 を重ねて配置しておく。

10

【 0 0 6 9 】

< ディスク保持部材折り返しステップ >

次に、このシート部材は、図 1 4 に示すように上部ディスク保持部材 7 a が第 1 端辺 3 a で折り返されて不織布 1 1 に密着している一方、下部ディスク保持部材 7 b が第 2 端辺 3 b で折り返されて不織布 1 1 に密着している。このように折り返された上部ディスク保持部材 7 a 及び下部ディスク保持部材 7 b は、不織布 1 1 を覆うとともにベース部材 3 に対向するように配置している。

20

【 0 0 7 0 】

< 溶着ステップ >

次に、このシート部材は、この状態で、図 1 5 に示すように上部ディスク保持部材 7 a 及び下部ディスク保持部材 7 b とベース部材 3 とが不織布 1 1 などを挟み込んだ状態で、第 3 端辺 3 c 付近にて溶着により固定される。

【 0 0 7 1 】

この溶着された部分は、第 3 端辺 3 c に沿って、上部ディスク保持部材 7 a には溶着部 7 e として形成されており、下部ディスク保持部材 7 b には溶着部 7 f として形成されている。このような構成によれば、第 1 端辺 3 a 付近及び第 2 端辺 3 b 付近のいずれでも溶着する必要がなくなる。このため、用意すべきシート部材は幅方向 Y において従来よりも小さくなる。

30

【 0 0 7 2 】

次に、このシート部材は、この状態で、図 1 6 に示すように上部ジャケット保持部 5 b が第 5 端辺 5 d で折り返されてカバー部材 5 に密着するとともに、下部ジャケット保持部 5 c が第 6 端辺 5 e で折り返されてカバー部材 5 に密着する。

【 0 0 7 3 】

次に、このシート部材は、このように上部ジャケット保持部 5 b 及び下部ジャケット保持部 5 c がカバー部材 5 に密着した状態で第 7 端辺 5 f に沿って溶着されることで固定される。この溶着部分は、第 7 端辺 5 f に沿って、上部ジャケット保持部 5 b には溶着部 5 g として形成されており、下部ジャケット保持部 5 c には溶着部 5 h として形成されている。このようにしてベース部材 3、中間部材 1 0、不織布 1 1、上部ディスク保持部材 7 a 及び下部ディスク保持部材 7 b で構成される収納部本体 4 が形成される。なお、中間部材 1 0 を省略した構成の場合、この収納部本体 4 は、ベース部材 3、不織布 1 1、上部ディスク保持部材 7 a 及び下部ディスク保持部材 7 b によって構成される。

40

【 0 0 7 4 】

< カバー部材形成ステップ >

次に、このシート部材は、カバー部材 5 が収納部本体 4 に対して第 3 端辺 3 c を中心として、図 1 7 に示すように R 方向に折り返される。次に、このシート部材は、図 1 8 に示すようにさらにカバー部材 5 が折り返されて収納部本体 4 に対面するようになり、これら

50

カバー部材 5 及び収納部本体 4 によりディスク収納ケース 1 が完成する。

【0075】

上記実施形態におけるディスク収納ケース 1 は、ディスク 13 を収納するための樹脂製のケースである。このディスク収納ケース 1 は、ディスク 13 を収納した際にディスク 13 を保持する矩形の部材であって、ディスク 13 の出し入れ方向 X に沿った 2 辺を構成する第 1 端辺 3 a 及び第 2 端辺 3 b を備えるとともに、それら第 1 端辺 3 a 及び第 2 端辺 3 b とともに上記矩形の部材の外縁を構成する第 3 端辺 3 c 及び第 4 端辺 3 d を備えるベース部材 3 (第 1 ディスク保持部材に相当) と、そのベース部材 3 の第 1 端辺 3 a で折り返し、ベース部材 3 に対して第 3 端辺 3 c 近傍で溶着部 7 e によって固定されており、そのベース部材 3 との間でディスク 13 を挟み込んで保持する上部ディスク保持部材 7 a (第 2 ディスク保持部材に相当) と、上記ベース部材 3 の第 2 端辺 3 b で折り返し、ベース部材 3 に対して第 3 端辺 3 c 近傍で溶着部 7 f によって固定されており、ベース部材 3 との間でディスク 13 を挟み込んで保持する下部ディスク保持部材 7 b (第 3 ディスク保持部材に相当) と、ベース部材 3 の第 4 端辺 3 d にてベース部材 3 に対して折り畳み可能なカバー部材 5 とを有する。

10

【0076】

以上説明したように、本実施形態のディスク収納ケース 1 によれば、ベース部材 3 の第 1 端辺 3 a 及び第 2 端辺 3 b がそれぞれ折り返しにより構成されているため、例えば溶着に必要な部分を必要とせず、ディスク 13 の出し入れ方向 X にほぼ垂直な方向 Y (幅方向に相当) において幅を小さくすることができる。従って、このディスク収納ケース 1 は全体として小型化を図ることができる。

20

【0077】

上記実施形態におけるディスク収納ケース 1 は、上述した構成に加えてさらに、上部ディスク保持部材 7 a 及び下部ディスク保持部材 7 b とベース部材 3 との間にディスク 13 が収納された際に、第 3 端辺 3 c 付近におけるディスク 13 の先端部が当たる上部ディスク保持部材 7 a 及び下部ディスク保持部材 7 b の少なくとも一方の部分に切り欠き部 7 c , 7 d が形成されている。

【0078】

これにより、上部ディスク保持部材 7 a 及び下部ディスク保持部材 7 b とベース部材 3 との間にディスク 13 が収納された際に、ディスク 13 の先端部を切り欠き部 7 c , 7 d に嵌め込みディスク 13 をさらに奥に収納することができるため、ディスク 13 の出し入れ方向 X におけるサイズを小さくすることができる。

30

【0079】

上記実施形態におけるディスク収納ケース 1 は、上述した構成に加えてさらに、ベース部材 3 の第 3 端辺 3 c で折り返して上部ディスク保持部材 7 a 及び下部ディスク保持部材 7 b とベース部材 3 との間に配置するシート部材であって、折り返した上部ディスク保持部材 7 a 及び下部ディスク保持部材 7 b 並びにベース部材 3 とともに第 3 端辺 3 c 近傍で溶着部 7 e , 7 f によって固定された中間部材 10 を有することを特徴とする。

【0080】

これにより、上部ディスク保持部材 7 a 及び下部ディスク保持部材 7 b とベース部材 3 との間に配置する中間部材 10 は、これら上部ディスク保持部材 7 a 及び下部ディスク保持部材 7 b とベース部材 3 との間に 2 つの隙間を形成する。すると、上部ディスク保持部材 7 a 及び下部ディスク保持部材 7 b と中間部材 10 との間の隙間にはディスク 13 を収納することができる一方、この中間部材 10 とベース部材 3 との隙間には、例えばディスク 13 に関するジャケット 8 を収納することができる。また、このディスク収納ケース 1 は、中間部材 10 が存在しているため、ディスク 13 を収納した際に、上部ディスク保持部材 7 a 及び下部ディスク保持部材 7 b とベース部材 3 とでディスク 13 を保持するのみならず、中間部材 10 でもディスク 13 を保持することになるため、これらベース部材 3 、上部ディスク保持部材 7 a 及び下部ディスク保持部材 7 b の厚みを従来よりも薄くしても、従来のディスク収納ケースと同程度の強度を確保することができる。

40

50

【 0 0 8 1 】

上記実施形態におけるディスク収納ケース 1 は、上述した構成に加えてさらに、上部ディスク保持部材 7 a 及び下部ディスク保持部材 7 b とベース部材 3 との間には、ディスク 1 3 のディスク面 1 3 a を保護する不織布 1 1 (保護部材) が配置していることを特徴とする。

【 0 0 8 2 】

これにより、上部ディスク保持部材 7 a 及び下部ディスク保持部材 7 b とベース部材 3 との間にディスク 1 3 を収納すると、ディスク面 1 3 a が不織布 1 1 によって保護され、傷が付きにくくなる。さらにこのディスク収納ケース 1 では、ディスク 1 3 の両面に不織布 1 1 が配置しないため、ディスク 1 3 を出し入れし易いながらディスク面 1 3 a を確実に保護することができる。

10

【 0 0 8 3 】

上記実施形態におけるディスク収納ケース 1 は、上述した構成に加えてさらに、中間部材 1 0 とベース部材 3 との間に形成された隙間であって、ディスク 1 3 を装飾するジャケット 8 の少なくとも一部を挿入可能なジャケット収納部 4 b を有することを特徴とする。

【 0 0 8 4 】

これにより、見開き可能なジャケット 8 の一方のページをこのジャケット収納部 4 b に挿入することで、このジャケット 8 を見開きの状態で収納することができる。

【 0 0 8 5 】

上記実施形態におけるディスク収納ケース 1 の製造方法は、ディスクを収納するための樹脂製のディスク収納ケース 1 の製造方法であって、ディスク 1 3 を収納した際にディスク 1 3 を保持する矩形のベース部材 3 と、ディスク 1 3 の出し入れ方向に沿ったベース部材 3 の 2 辺を構成する第 1 端辺 3 a 及び第 2 端辺 3 b を介して各々連続している上部ディスク保持部材 7 a 及び下部ディスク保持部材 7 b と、第 2 端辺 3 b 及び第 2 端辺 3 b とともにベース部材 3 の外縁を構成する第 3 端辺 3 c 及び第 4 端辺 3 d のうち第 4 端辺 3 d を介して連続するカバー部材 5 とを有する、シート部材を形成するシート部材形成ステップと、前記上部ディスク保持部材 7 a を第 1 端辺 3 a で折り返してベース部材 3 に対向させるとともに、下部ディスク保持部材 7 b を第 2 端辺 3 b で折り返してベース部材 3 に対向させるディスク保持部材折り返しステップと、折り返した上部ディスク保持部材 7 a 及び下部ディスク保持部材 7 b 並びにベース部材 3 とともに第 3 端辺 3 c 近傍で溶着部 7 e , 7 f によって固定する溶着ステップと、カバー部材 5 を第 4 端辺 3 d にて折り返してベース部材 3 に対して折り畳み可能とするカバー部材形成ステップとを有する。

20

30

【 0 0 8 6 】

これにより、ディスク保持部材折り返しステップでは、上部ディスク保持部材 7 a 及び下部ディスク保持部材 7 b をベース部材 3 に溶着する代わりに、各々第 1 端辺 3 a 及び第 2 端辺 3 b で折り返しにより上部ディスク保持部材 7 a 及び下部ディスク保持部材 7 b をベース部材 3 に対応させている。このためディスク収納ケース 1 は、第 1 端辺 3 a 及び第 2 端辺 3 b のいずれにもこれらを溶着する溶着部 7 e , 7 f を形成する必要がないため、ディスクの出し入れ方向 X に垂直な幅方向 (幅方向 Y に相当) において幅を小さくすることができる。このため、この製造方法により製造されたディスク収納ケース 1 は、全体として従来よりも小型化を図ることができる。

40

【 0 0 8 7 】

上記実施形態におけるディスク収納ケース 1 の製造方法においては、上述した手順に加えてさらに、シート形成ステップでは、シート部材に、上部ディスク保持部材 7 a 及び下部ディスク保持部材 7 b とベース部材 3 との間にディスク 1 3 が収納された際に、第 3 端辺 3 c 付近におけるディスク 1 3 の先端部が当たる上部ディスク保持部材 7 a 及び下部ディスク保持部材 7 b の少なくとも一方の部分に切り欠き部 7 c , 7 d を形成しておく。

【 0 0 8 8 】

これにより、上部ディスク保持部材 7 a 及び下部ディスク保持部材 7 b とベース部材 3 との間にディスク 1 3 が収納された際に、ディスク 1 3 の先端部を切り欠き部 7 c , 7 d

50

に嵌め込みディスク 13 をさらに奥に収納することができるため、ディスク 13 の出し入れ方向 X におけるサイズを小さくすることができる。

【0089】

また、以上既に述べた以外にも、上記実施形態や各変形例による手法を適宜組み合わせ利用しても良い。

上記実施形態においては、主としてディスク収納ケース 1 に中間部材 10 が存在する形態を例示したが、上述したように中間部材 10 が存在しない形態であっても良い。また、上記実施形態においては、上部ディスク保持部材 7a 及び下部ディスク保持部材 7b の形状は、上述した形状に限られず、ディスク 13 を不織布 11 との間で保持することができるればいかなる形態を採用しても良い。

10

【0090】

その他、一々例示はしないが、本発明は、その趣旨を逸脱しない範囲内において、種々の変更が加えられて実施されるものである。

【図面の簡単な説明】

【0091】

【図 1】本実施形態のディスク収納ケースの全体構造を表す斜視図である。

【図 2】図 1 に示すディスク収納ケースを折り畳んだ状態の一例を示す斜視図である。

【図 3】図 1 に示すディスク収納ケースのベース部材の断面構成例を表す部分断面図である。

【図 4】図 1 に示すディスク収納ケースのベース部材の断面構成例を表す部分断面図である。

20

【図 5】図 3 に示すディスク収納ケースの第 1 端辺近傍を A - A' 線で切断した場合における断面図である。

【図 6】図 4 に示すディスク収納ケースにディスクを収納して第 1 端辺近傍を A - A' 線で切断した場合における部分断面図である。

【図 7】図 4 に示すディスクを収容しているディスク収納ケースの収納部本体の一部を拡大した構成例を示す正面図である。

【図 8】ディスク収納ケースにジャケットを装着する様子の一例を示す斜視図である。

【図 9】ディスク収納ケースにジャケットを装着する様子の一例を示す斜視図である。

【図 10】図 1 に示すディスク収納ケースを製造するためのシート部材を広げた構成例を示す正面図である。

30

【図 11】図 1 に示すディスク収納ケースを製造するためのシート部材を広げた構成例を示す正面図である。

【図 12】ディスク収納ケースを製造する手順の一例を示す斜視図である。

【図 13】ディスク収納ケースを製造する手順の一例を示す斜視図である。

【図 14】ディスク収納ケースを製造する手順の一例を示す斜視図である。

【図 15】ディスク収納ケースを製造する手順の一例を示す斜視図である。

【図 16】ディスク収納ケースを製造する手順の一例を示す斜視図である。

【図 17】ディスク収納ケースを製造する手順の一例を示す斜視図である。

【図 18】ディスク収納ケースを製造する手順の一例を示す斜視図である。

40

【符号の説明】

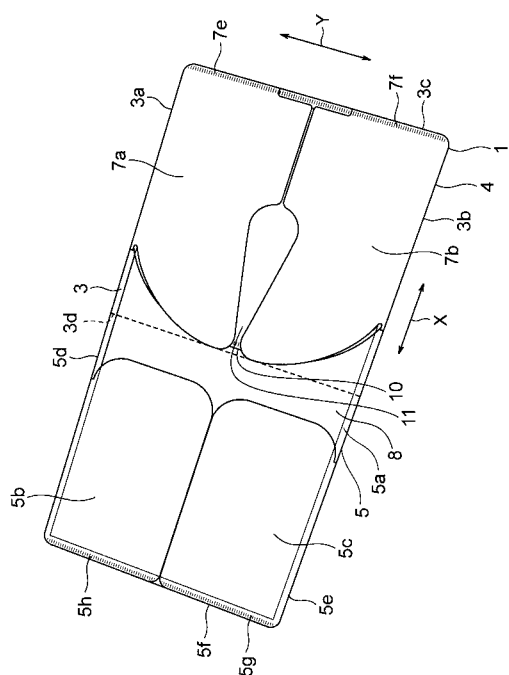
【0092】

- | | |
|-----|---------------------|
| 1 | ディスク収納ケース |
| 3 | ベース部材（第 1 ディスク保持部材） |
| 3 a | 第 1 端辺 |
| 3 b | 第 2 端辺 |
| 3 c | 第 3 端辺 |
| 3 d | 第 4 端辺 |
| 4 | 収納部本体 |
| 4 a | ディスク収納部 |

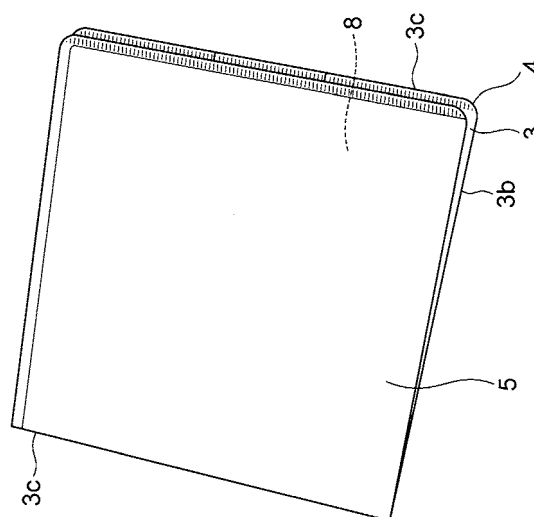
50

4 b	ジャケット保持部
5	カバー部材
7 a	上部ディスク保持部材（第2ディスク保持部材及び第3ディスク保持部材の一方）
7 b	下部ディスク保持部材（第2ディスク保持部材及び第3ディスク保持部材の他方）
8	ジャケット
1 0	中間部材
1 1	不織布（保護部材）
1 3	ディスク
X	ディスクの出し入れ方向
Y	幅方向

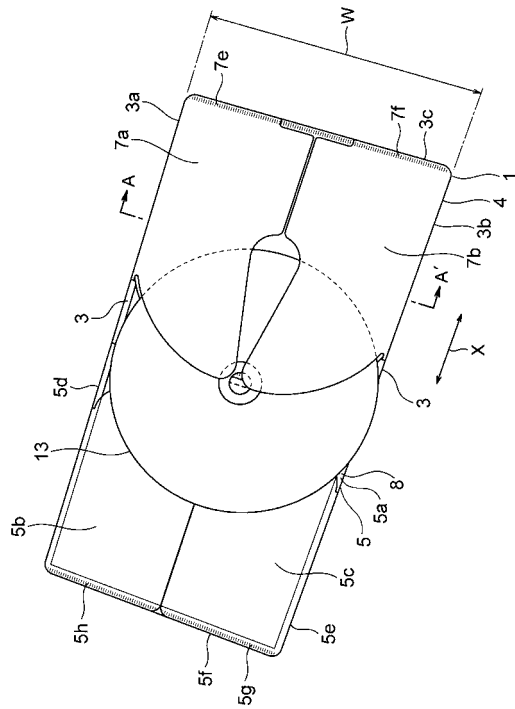
【 図 1 】



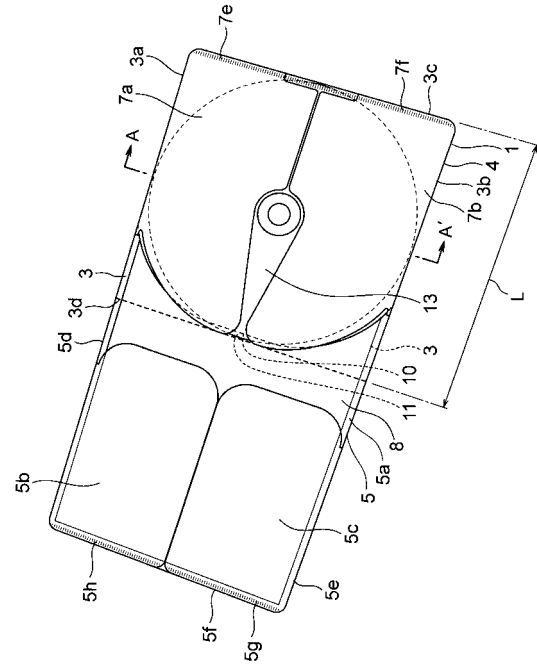
【圖 2】



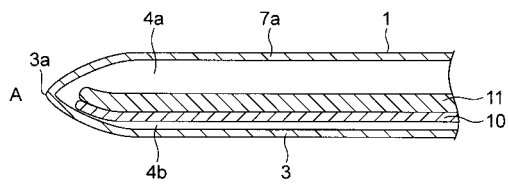
【図 3】



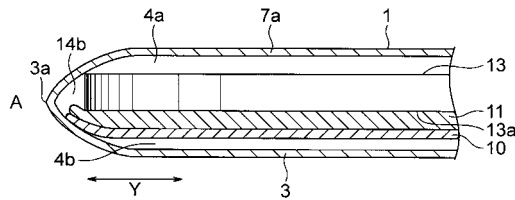
【図 4】



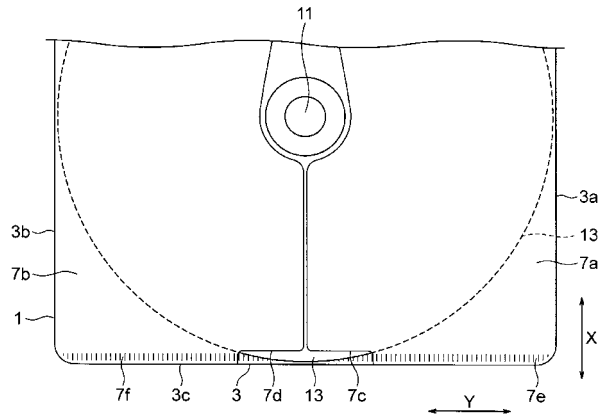
【図 5】



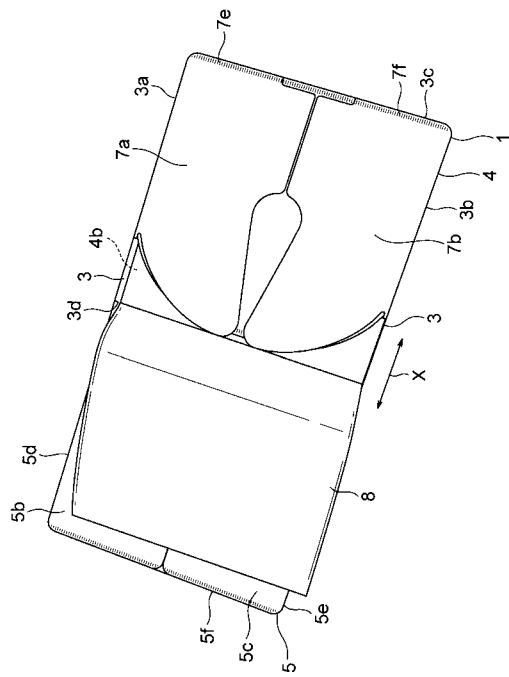
【図 6】



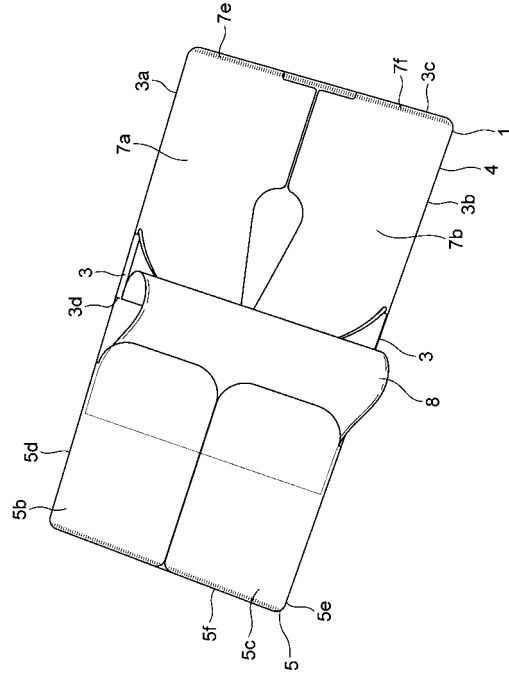
【図 7】



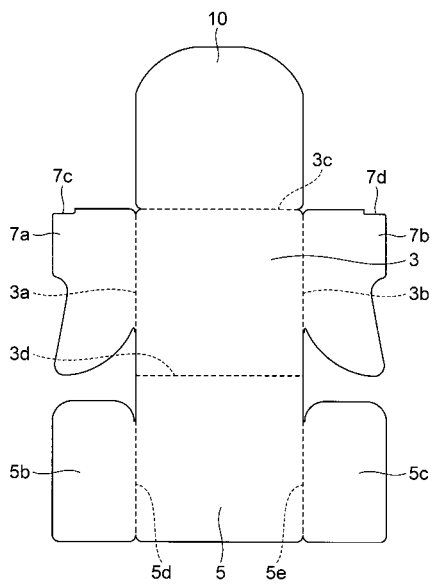
【図 8】



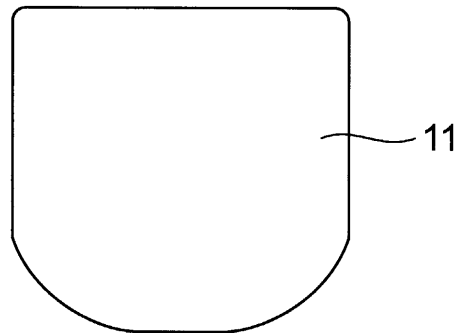
【図 9】



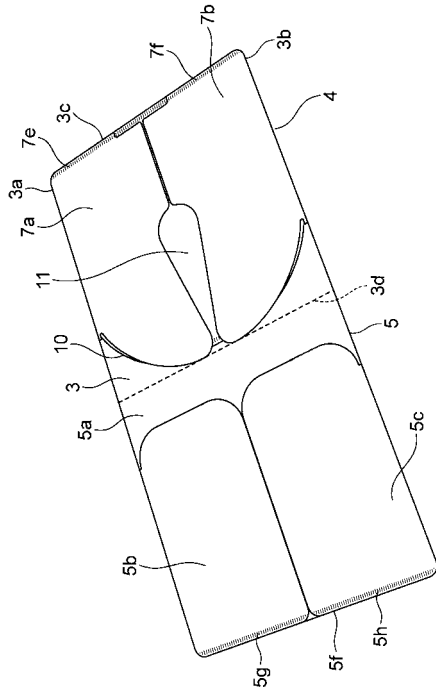
【図 10】



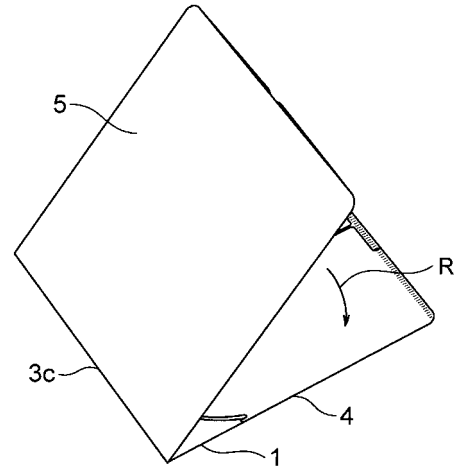
【図 11】



【図 16】



【図 17】



【図 18】

